

## 第 22 回 安全設計指針検討会 議事録

1. 日時 平成 29 年 10 月 4 日（水）13:30～17:00
2. 場所 一般社団法人 日本電気協会 A 会議室
3. 出席者（敬称略，順不同）

出席委員：松本主査（中部電力），太細副主査（北海道電力），今井（東京電力 HD），別府（中国電力），西紋（四国電力），大口（電源開発），二神（JAEA），大川（東芝），荻野（三菱重工業），織田（日立 GE）

代理委員：座主（北陸電力・森本委員代理），

欠席委員：佐藤（東北電力），池田（関西電力），松田（九州電力），町田（日本原子力発電），鎌田（JANSI）

オブザーバ：（なし）

常時参加者（欠席）：市川（原子力規制庁）

事務局：井上，渡邊，平野（日本電気協会）
4. 配布資料

資料 No.22-1 第 21 回 安全設計指針検討会 議事録（案）

資料 No.22-2-1 検査制度の見直し等に伴う規格の制・改定の検討状況について（経過報告）（第 64 回原子力規格委員会 資料 No.64-6-3）

資料 No.22-2-2 JEAG4612 改定に係る事前検討（2017 年 8 月 9 日 日立 GE 作成）

資料 No.22-2-3 日本原子力学会標準「原子力発電所におけるシビアアクシデントマネジメントの整備及び維持に関する実施基準：201X」改定に関する本報告（2017 年 8 月 31 日付 原子力学会 シビアアクシデントマネジメント分科会作成）

資料 No.22-2-4-1 第 5 回 検査制度見直しに係る規格類意見交換会 議事録（平成 29 年 8 月 9 日）

資料 No.22-2-4-2 重要度分類に関する各社へのご意見に対する回答依頼について Rev.1

資料 No.22-2-4-3 重要度分類に関する質問に対する各社回答

参考資料 原子力規格委員会 安全設計分科会 安全設計指針検討会 委員名簿（平成 29 年 10 月 4 日現在）

## 5. 議事

### (1) 定足数の確認，代理出席者の承認について

事務局より，代理出席者 1 名について紹介し主査の承認を得た。また，事務局より，本日の出席者は代理出席者を含めて 11 名であり，委員総数の 3 分の 2（11 名）以上の出席という会議開催定足数の条件を満たしているとの報告があった。

また，懸案となっていた副主査については，太細委員（北海道）に内諾を頂いていること

について、主査から紹介があり、太細委員が副主査に指名された。

(2) 前回議事録の確認について

事務局より、資料 22-1 に基づき、前回議事録について説明があり、コメントはなく承認された。前回より少し時期が空いた理由について主査より説明があった。

(3) JEAC4612 改定検討について

a. 現在までの経緯等について（資料 No.22-2-1, 22-2-4-1～3）

主査より以下の説明があった。

- ・検査制度見直しを見据え、電事連と三学協会の間で規格類に関する意見交換を継続しているが、電事連からの改定ニーズを整理したもののうちで JEAG4612 の改定の優先順位が比較的高い位置にあることから現在に至っていること。
- ・平成 29 年 7 月の NRA—事業者の意見交換において、更田委員（現委員長）から SA 設備の重要度を今後考えていく必要があるとの発言があったこと。
- ・8 月 9 日には電事連の検査・保全部門と三学協会の意見交換を実施しており、その際に、各事業者から改定ニーズを改めてお願いし回答を集約している段階であること。

b. 「JEAG4612 改定に係る事前検討」および「原子力発電所におけるシビアアクシデントマネジメントの整備及び維持に関する実施基準：201X」について（資料 No.22-2-2, 22-2-3）

織田委員より、上記 2 件の説明があった。

- ・「JEAG4612 改定に係る事前検討」は、JANSI 委託にて実施。IAEA の SSG30 などを参考に SA 設備の分類方策を検討したもの。
- ・「原子力発電所におけるシビアアクシデントマネジメントの整備及び維持に関する実施基準：201X」

c. 今後の進め方について

主査より、以下 2 点の提案があった。（後日あらためて依頼）

- ・電事連との意見交換などは進めてきているが、検討会内で認識を共通にしておく意味も含めて、あらためて JEAG4612 改定の意義について各委員のご意見を伺いたい。
- ・今後改定の検討を進めていくにあたり、インプットがあるなら、ご意見を伺いたい。

また、議論の中で以下のやり方についても委員から提案がなされた。

- ・「JEAG4612 改定に係る事前検討」（資料 No.22-2-2）P6 にあるような、a.b.c.d.などの機能（設備）の属性によって仮想的に分類してみるなどで相場観を掴むのはどうか。
- ・10CFR50.69 に基づいて分類された米国の事例などを入手し、参考にするのはどうか。また、その他海外の事例を見ると参考になるのではないか。

(4) 次回の検討会について

次回は、JEAC4603のコメント対応方針等を中心に議論することとする。10/19を予定。

JEAG4612については、各委員から回答される意見を確認し、これを踏まえて次のステップは少人数の幹事会で検討していくこととする。

以 上